

登別市立若草小学校だより



若草

令和4年
6月24日
第4号

学校教育目標

- たくましい子 (徳)
- 考える子 (知)
- 健康な子 (体)

「協」と「響」で心のつながりを

校長 大熊 龍也

新型コロナウイルス感染症の影響で、6月実施予定だった運動会を延期することといたしました。また、学年・学級閉鎖などの措置をとることもありました。健康と安全を守るための措置ではありましたが、子どもたちはもちろん、各ご家庭の皆様にはご心配とご迷惑をおかけすることとなりました。もちろん、一番大変な思いをされたのは、実際に陽性の方が判明したご家庭です。様々なご心配や大変なご苦労があったことと推察いたします。改めて心よりお見舞い申し上げます。

□新しい学校の生活様式における「協」と「響」の大切さ

全道的に新規感染者数は減少しているとはいえ、まだまだ本校においては予断を許さない状況であり、引き続き、感染予防対策を行っております。子どもたちにおいても、気を付けようとする様子が見られ、特に給食時間においては、準備から実食、そして片付けまで黙々と行っています。このように、新型コロナウイルス感染症が出現する以前のように会話することに制限があったり、触れ合うことができなかつたりすることが続く・・・そんな状況だからこそ、心と心のつながりをより大切にしていくことが必要です。

学校では、児童会や係の活動、そして教科の学習において「協」力する場面を可能な限り取り入れています。4年生が国語の学習の一環で、校長室にインタビューしに来たことがありました。そのときには、グループごとに役割を決め（進める子、質問する子、撮影する子）学習していきました。もちろん、このあと実施予定の運動会においても、いろいろな場面で「協」力する姿が見られると思います。

さらに、互いの心を「響」かせる活動も行っています。例えば、児童会による朝のあいさつ運動。互いに声を出すことで、それぞれの心に届けようとしています。例えば学習の成果物に友達からのコメントを添える取組。自分が相手の作品から感じたこと、心に「響」いたことをその相手に伝えることで、作品を作った子の心を「響」かせることができます。

□「心」は誰にも見えないけれど「心づかい」は見える

「心」は誰にも見えないけれど、「心づかい」は見える

「思い」は見えないけれど、「思いやり」は誰にでも見える

これは、詩人の宮澤章二さんの「行為の意味」という詩を抜粋し、公共広告機構が制作したメッセージです。（東日本大震災の際に放映されていました。）人の心は目には見えないけれど、行為としての「心づかい」であれば、それを私たちは見るすることができます。どんな思いをもっているかは分からなくても、「思いやり」が行為として表れたら伝わります。

新型コロナウイルス感染症により、なかなかコミュニケーションを図ることが難しくなっているからこそ、より進んで行為としての「心づかい」や「思いやり」ができるように、学校では「協」力したり、互いの心を「響」かせる活動に取り組みせたりしていきたいと考えています。子ども同士の心と心のつながりを強くするために。

（参考文献 小学校時報）

5年福祉出前教室 6月1日(水)

今年度も5年生は福祉についての学習をしています。

今回はリモートで登別視力障がい者協会の方が、自己紹介を兼ねて、自分の障がいについてお話をしてください、そこからユニバーサルデザインやバリアフリーについての説明をしていただきました。誰もが生活しやすい環境(もの)とはどんなものか、実は身近かにあることを学びました。

子どもたちにはこのような学習から、ユニバーサルデザインやバリアフリーを使用している人たちの思いをしっかりと理解してほしいと思います。



1年食育授業 6月22日(水)

幌別東小学校の栄養教諭が来校され、給食センターの調理の様子を動画で見せてくださり、給食センターで使っている大きなおたまに2kgのおもりを入れて、持ち上げる体験もさせていただきました。

学校給食センターの人たちが子どもたちにおいしい給食を提供するために努力や苦勞をしていることを知りました。今後は給食のおいしさが一段と増すことだろうと思います。



交通事故を起こさないために

先日、横断歩道を自転車で渡ろうとしている子が何人かいました。先に横断歩道に差しかけた子どもたちは自転車に乗ったまま渡りましたが、その後の数人は自転車から降りて、しっかりと左右を確認してから渡っていました。

「自分は大丈夫」という気持ちは誰もが思いますが、果たして本当に大丈夫なのでしょうか。

地域の皆さんからも心配の声が時々学校に寄せられています。

詳しくは本日配布した生活だよりにも載せています。ぜひ、お子さんとご確認ください。



体力づくりは「歩く」ことから

「健全なる精神は健康なる肉体に宿る」という言葉があります。まさに知・徳・体のバランスを保つことは子どもたちの健全な成長を促進します。送迎が必要な場合は別ですが、登下校も「歩く」ことを大切にしていきたいと思っています。

7月の主な行事予定

- 1日(金) 運動会前日準備のためB日課4時間授業
給食あり
- 2日(土) 運動会(午前日程) ※雨天順延
- 4日(月) 振替休業日
- 5日(火) 運動会后片付け(1校時)
3年食育授業(ヤクルト)
- 6日(水) 6年スマホ携帯安全教室(オンラインドコモ) こぐま号
PTA交通安全指導②町会下校指導④
- 7日(木) うんどう広場
- 8日(金) 2年世代間交流
放課後子ども学習塾(鬼っ子算数教室)①
- 9日(土) 土曜授業①3時間授業 津波想定避難訓練
- 11日(月) 委員会⑤ SC来校日
- 12日(火) 4年食育授業(カルビー)
- 18日(月) 海の日(祝日)
- 20日(水) PTA交通安全指導③町会下校指導⑤
こぐま号(返却のみ)
- 22日(金) 1学期終業式 A日課4時間授業
給食なし
- 27日(水) 姉妹都市交流
- 28日(木) うんどう広場
- 30日(土) 登別市民ラジオ体操会(本校グラウンド)
※夏休みは7月23日~8月16日の25日間です。
※2学期始業式は8月17日(水)です。
※新型コロナウイルス感染症の感染状況などにより、夏休みの日数の削減など予定が変更になる場合があります。

SC~スクールカウンセラー

体力テストを実施しています

バランスの取れた体力・運動能力の育成に向けた取組を一層改善・充実するため、全学年が「握力」「上体おこし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「持久走」「50m走」「ソフトボール投げ」の体力テストを行い、学校全体の体力・運動能力の状況を分析し、課題を明確にし、その解決に向けての取組を、体育の授業を中心に進めていきます。

ご家庭でも、ウォーキングやなわとびなどの体力づくりに取り組んでいただければと思います。

新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった学習活動

今年度も感染症対策を講じても実施が難しいと登別市で判断され、中止となった校外学習や外部講師を招いて行う以下の学習活動があります。

○温泉入浴体験(3年生対象)

○邦楽鑑賞会(6年生対象)

とても残念なことですが、他の学習を充実させることで、子どもたちに学ぶ楽しさを感じてもらえるよう教育活動を工夫していきたいと思っています。